

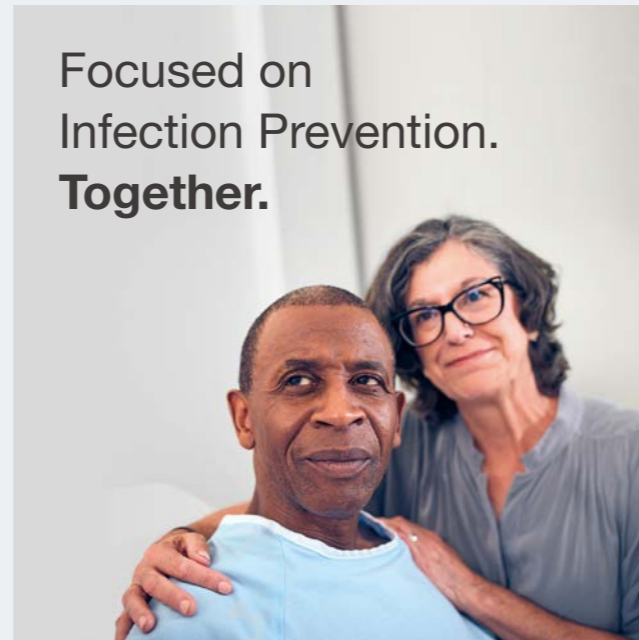
リプロセス

医療従事者と共に進める感染対策への注力

患者さん・医療従事者の皆さまに医療機器を安全にご使用いただくためのリプロセス強化の取り組み

オリンパスは内視鏡医療の長い歴史を通じ、診断領域から治療領域に渡って高性能な医療機器を実現してきました。また、オリンパスは医療従事者と共に実現させる内視鏡医療の進歩が患者ケアにおいて重要な役割を果たすと信じています。一方、内視鏡に関連した感染事例の報告があったことから、リユース内視鏡を安全かつ効果的にご使用いただくための重要な要素である内視鏡リプロセス(洗浄、消毒、および/または滅菌)に対して、行政や病院からの注目が集まっています。

加えて、近年新種の細菌やウイルス(具体的には多剤耐性菌や新型コロナウイルス、ただし、新型コロナウイルスについては内視鏡を介した感染のリスクが低いと報告されています)が登場しています。オリンパスは感染対策における重要な役割を果たすとともに、医療従事者の皆さまに安全で効果的な製品を提供するための努力を続けていきます。



新型コロナウイルス感染症によって多くの検査・処置が延期に

オリンパスは患者さんの健康と安全を最優先に考えています。2020年の初頭から新型コロナウイルス感染症がまん延し、それにより計画されていた検査や処置が延期される事態になりました。内視鏡によるがんのスクリーニング検査も延期され、病気が見つからずに進行してしまう恐れがありました。これまでにないウイルスである新型コロナウイルスは、患者さんや医療従事者の皆さまだけでなく、私たち医療機器業界にも多くの挑戦をもたらしました。

オリンパスでは、医療従事者および学会と協力し、コロナ禍において安全に内視鏡検査を行うために必要な情報をまとめ、ホームページ、ウェビナー、eラーニング、ヘルプラインなどを通じて医療従事者に提供しました。これはオリンパスが医療従事者と共に行った感染対策に一層貢献するための活動の一つです。



新型コロナウイルス感染症に関するウェビナーの様子

Beyond COVID-19：感染対策へのアプローチの強化

コロナ禍にあっても、オリンパスは内視鏡に関わる感染を防ぐための努力を継続し、強化してきました。過去に行った十二指腸鏡に関する市販後調査においてはほとんどの症例で内視鏡が安全とされる状態にリプロセスされていることが分かりました。しかし、一部の内視鏡ではリプロセスの後でも内視鏡に菌が残っている(残菌)場合があることが分かりました。これはリプロセス強化の余地があることを意味します。残菌があったこと(残菌率)は患者さんに感染があったこと(感染率)を意味しませんが、オリンパスはリユース機器に対する感染対策視点でのモニタリングを行うことおよび、効果的な内視鏡リプロセスに関する有意義なトレーニングを医療従事者に提供することが重要になると考えています。

この観点において、オリンパスは病院での内視鏡リプロセスの強化に積極的に取り組み、感染対策に関するデジタルコンテンツを増強し、医療従事者の皆さまへの教育を複数のチャンネルから行える様に取り組んでいます。取り組みとしては、リユース機器の異なるリプロセスステップをより簡単に、より良く理解いただくための取扱説明書やビジュアルリプロセッシングガイド(VRG)と呼ばれる医療従事者向けトレーニングビデオの作成・更新活動があります。さらには、各種医療従事者(医師、看護師、技師の方々)に対して、内視鏡の日常的な点検や菌サンプリング等の内視鏡リプロセスに関わる追加トピックに関して、ウェビナー、eラーニング、チェックリスト、施設での支援(on-site support)やハンズオントレーニングを提供していきます。



リプロセス
ステップの確認



新規リプロセス
担当スタッフに対する
トレーニング



リプロセスに
関する模擬監査



簡易的な
リプロセスガイド

オリンパスは内視鏡医療における患者さんの安全を重視し、現場の医療従事者の皆さまと協力しながら、共通の目標である患者さんの健康と安心の実現に取り組んでいきます。

COLUMN

最新の内視鏡(十二指腸鏡)をお使いいただくために



オリンパスは近年先端キャップを着脱可能にした十二指腸鏡を欧州、アジア、日本、そして米国市場に導入しました。医療従事者の皆さまが内視鏡先端周りの複雑な構造をより見やすく、より洗いやすくする工夫がなされた新しい内視鏡です。これまでの先端キャップ固定式の十二指腸鏡についても安全にご使用いただけますが、感染対策の取り組みを進めるべく、各地の行政と協力しながら、これまでの十二指腸鏡を新しい「より洗いやすい内視鏡」に置き換える活動を自主的に進めています。